

## 2023年度 学校評価並びに関係者評価 実施結果報告

『ご挨拶』

学校関係者評価を公開いたします。本校の教育運営に対する関係者の評価をご高覧頂き、本校に対して、幅広い理解を賜りますようお願い申し上げます。

社会の様々な領域において、組織をどのように統治するかという「ガバナンス」の在り方に注目が集まっており、専門学校についても教育の質保証・向上を図ると共に、学習者の適切な選択に資する観点から、学校評価・情報公開等への対応が求められています。そこで、本校においては、学生による授業アンケートや校長による授業観察並びに教職員の自己評価を実施しており、幾分かの効果を上げて参りました。また、学校関係者評価を実施し、更なる教育・学習者支援に効果を上げております。

以下の自己評価の評価値は、5点満点で記載しています。根拠となる情報は、入学状況（入学定員と入学者数、収容定員と在籍者数）、教育評価（授業アンケート、保護者アンケート、教員の自己評価）、資格取得状況、就職・進学状況、財務状況です。

学校関係者評価委員会を開催し、この自己評価に対する委員からのご指摘、ご講評を頂き、それらを基に全体的な総括を行っています。

項目	番号	点検項目	評価値
1 念 目 教 育 理	1	3つのポリシー(アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー)に基づいた入試・教育・単位認定等を行っているか。	4
	<p style="text-align: center;">評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つのポリシーを策定し、ポリシーに基づき学生の受け入れ、教育、卒業認定を行っています。</li> <li>・現場での運用がポリシーと乖離しない様、チェック体制を整備する必要があります。</li> </ul>		
項目	番号	点検項目	評価値
2 学 校 運 営	2-1	学生情報を統一して学校運営(管理・教育)を行っているか。	4
	2-2	学則・規程等に基づいた学校運営がなされているか。	4.5
	2-3	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4
	<p style="text-align: center;">評価</p> <p>(2-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教学システムにて学生情報を統一して学校運営を行っています。令和5年度時点で統一が完了しているのは、学生募集、入学、成績、資格、就職／進学で、卒業生の情報収集が未だ実現できていません。</li> </ul> <p>(2-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学則・規定に基づいた学校運営が行われています。</li> <li>・社会情勢や現場の運用に応じて改定等を適宜行っており、引き続き学則等に準じた運用を行っていきます。</li> </ul> <p>(2-3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程編成委員会報告、学校関係者評価委員会報告、本校ホームページなどを通じて、入学状況、在籍者の状況、資格取得状況、就職・進学状況などの情報公開をしております。</li> <li>・公表の時期が若干遅れ気味になっているので、早めていく必要があります。</li> </ul>		
項目	番号	点検項目	評価値
3 教 育 活 動	3-1	職能団体のイベント等への参加や企業と連携した授業を行うなど学生の見識を深める活動を行ったか。	3.8
	3-2	就職後に学生にとって有益となる資格取得を目指した講義を行っているか。	4.2
	3-3	教育活動を充実させるために、学生からの意見を聞く機会は十分に設けられているか。	3.8
	3-4	業界の要望、学生の意見を基にカリキュラムの見直しを行っているか。	3.9
	<p style="text-align: center;">評価</p> <p>(3-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築学科の学生は、OKC岡山建築設計クラブ主催のワンデーエクササイズ（建築系の学生の優秀作品表彰）に第1回目から参加し、非常に高い評価を受けています。</li> <li>・愛玩動物看護学科の学生は、動物臨床医学会年次大会に参加し、卒業研究の成果を発表しています。また、学会参加により他校の学生・教員とも交流でき、最新の情報に触れる機会を得ています。</li> </ul> <p>(3-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学科で就職後に役立つ資格を選定し、資格取得を目指した講義・実習を行っています。</li> </ul> <p>(3-3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートの結果を各教員にフィードバックし次年度からの授業改善に役立てています。</li> <li>・授業アンケートの評価の低い教員、記述された学生からの意見によって、校長が当該教員のヒアリングを行い、授業の改善を指導しています。</li> </ul> <p>(3-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程編成委員会の外部委員の意見を基に業界の要望をカリキュラムの見直しを行っています。</li> <li>・カリキュラムに関して学生からの意見を集めるしくみはできていません。</li> </ul>		

項目	番号	点検項目	評価値
4	4-1	各種資格取得率が上がる様、対策講座や補習等の支援を行ったか。	3.9
	4-2	全学生に社会に必要なマナーを教授し、人間力の向上を図ることができたか。	3.6
	4-3	上記の資格取得向上・人間力の向上等の方策により就職率を向上させることができたか。	3.7
		評価	
学 修 成 果	(4-1)	・ 建築学科では資格対策講座を行い、1級建築士、2級建築士ともに多数の合格者を出しています。 ・ 愛玩動物看護学科では、対策講座180時間（基礎動物看護学60時間、臨床動物看護学60時間、愛護・適正飼養学60時間）を設けて国家試験対策を行っています。また、令和6年度から学園内の3大学1専門学校で連携して合格率アップを目指す取り組みをスタートさせる予定です。	
	(4-2)	・ 動物系の全学科で「ビジネスマナー」（30時間）を開講しており、社会人として必要なマナーを身に付けさせるようにしています。	
	(4-3)	・ 資格取得や社会人マナーの修得は就職率の向上に役立っていると考えます。	
		評価	
項目	番号	点検項目	評価値
5	5-1	在校生の交流の場を増やす取り組みを行うことができたか。	3.5
	5-2	学生が学修・進路・私生活などに関する相談を行う体制は整っているか。	3.8
	5-3	学生のメンタルケアや身体的な不調などに対応できる体制は整っているか。	3.7
	5-4	経済的に修学困難な学生への修学支援を実施しているか。	3.7
学 生 支 援	(5-1)	・ 年1回開催の全校球技大会、理専祭（学校祭）、サークル活動および動物愛護フェスティバル等へのボランティア参加などが在校生の交流の場となっています。交流の場を更に増やしていく必要があります。	
	(5-2)	・ 全般的な窓口は各クラスのチューターで、その他にも、相談内容に応じて就職担当教員、教務担当教員、などが相談に対応しています。	
	(5-3)	・ 予約制で週1日カウンセラーが相談に応じています。	
	(5-4)	・ 令和5年度も高等教育修学支援制度対象校として認定を受けており学生の家計状況に応じた経済的支援を行うとともに日本学生支援機構の奨学金の申請についても広く相談に応じる等の支援を行っています。	
項目	番号	点検項目	評価値
6	6-1	年次計画を立てて、施設の改修・補修を実施しているか。	4.0
	6-2	学生・教職員が快適で健康的な校内環境となるよう対策を講じているか。	3.1
	6-3	教育活動が充実するよう設備・備品等を導入・更新しているか。	3.7
		評価	
教 育 環 境	(6-1)	・ 建物内外部の壁の補修、学生用ロッカーの更新等を順次実施しています。	
	(6-2)	・ ドッグランの人工芝敷設、夏場の日差しを避けるためのテントの設置を行っています。引き続きアジリティスペースの人工芝敷設について進めていきます。 ・ 学生のためのスペースが十分とは言えず今後の整備が必要です。	
	(6-3)	・ プロジェクターなどを順次高光度のものに交換し、スクリーンを見ながらノートをとれるよう教室の学習環境を改善しています。	
		評価	
項目	番号	点検項目	評価値
7	7-1	高等学校との連携が強化されるような取り組みを行ったか。	3.7
	7-2	オープンキャンパスの来校者が増加するような取り組みを行ったか。	4.1
		評価	
学 生 の 受 け 入 れ	(7-1)	・ 同一学園内の岡山理科大学付属高校の普通科総合進学コース生命動物系の科目を本校の教員が担当し、高校在学時から動物に関する興味を持ってもらえるような取り組みを行っています。	
	(7-2)	・ 多数の進学サイト運営会社にて本校の各学科情報やオープンキャンパス情報の掲示を行う等、常時本校についての情報が入手できる様な体制で広報活動しています。	

項目	番号	点検項目	評価値
8 財務	8	管理・教育の運営を予算内で行い、健全な収支となるよう勤めているか。	4.5
	評価 ・非常に健全な収支となっています。 ・各教職員の高いコスト意識に基づく経費削減にて令和4年度に引き続き令和5年度も健全な収支バランスを維持することが出来ています。		
項目	番号	点検項目	評価値
9 法令等の遵守	9-1	学則・規程等は諸管轄の定める手続きに基づき改正しているか。	4
	9-2	校内でのハラスメントに関する相談等に対応する体制は整っているか。	3.5
	9-3	学生・教職員の個人情報法令に基づき適切に管理されているか。	4
	評価		
	(9-1) 法令等の遵守	<p>・学則・規程等の制定・改定については岡山県庁・学園本部(コンプライアンス対策課)を通して行うことから学則・規定などは諸管轄の定める手続きに基づいて改正を行っています。</p> <p>(9-2)</p> <p>・令和5年度時点ではハラスメントに関する規定が存在せず、令和6年度に作成しました(本原稿執筆時点)。</p> <p>・令和5年度時点で、ハラスメントの相談窓口は明記されていないが、チューター、事務室の職員への相談が行われています。令和6年度(本原稿執筆時点)に作成した規定では、相談先を明記しています。</p> <p>(9-3)</p> <p>・学校法人加計学園個人情報保護規程に基づき、学生・教職員の個人情報は使用目的を守って厳正に使用し、適切に管理しています。</p>	
項目	番号	点検項目	評価値
10 地域社会貢献・地域	10-1	地域・業界のボランティアに積極的に参加することができたか。	4
	10-2	学校での活動の成果が、地域のニーズに応えることができるような検討がなされているか。(カリキュラムな	3.8
	評価		
(10-1) 地域社会貢献・地域	<p>(10-1)</p> <p>・建築学科では、多年に渡り岡山県長島愛生園への住宅模型の寄贈を続けています。</p> <p>・動物系学科は、岡山県および岡山市の動物愛護フェスティバルに協力し、毎年多くの学生ボランティアスタッフが参加しています。令和5年度には、これらの貢献に対して岡山県より本校へ感謝状が贈られました。</p> <p>(10-2)</p> <p>・建築学科「古民家再生論」「まちづくりファシリテーター養成講座」などの科目が地域のまちづくりのニーズに応えています。</p>		

本年度の学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

総合的評価
<p>専門学校にとって重要な4つのポイントとは、（1）入学、（2）教育、（3）資格・就職・進学、（4）財務である。これらのうち、（1）入学に関しては全5学科の入学総定員を充足することができた。ただし、18歳人口の傾向的減少が続くなか、今後とも学生募集に努力していく必要がある。（2）教育に関しては毎年実施している授業アンケート（5点満点）の全学科全科目平均が4.27～4.47で推移しており、高い評価ではあるが今後とも更なる授業改善が求められる。（3）の資格取得に関しては、学科ごとにばらつきがあるが、全学科ともに資格取得率の向上に向けた取り組みを進めていかなければならない。就職・進学に関しては概ね良好な状況である。（4）財務に関しては非常に良好な状態を維持できており、今後とも経費節減しながら選択的な投資を通じて学校の改善を図っていかなければならない。</p>

今後の取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
愛玩動物看護師国家試験の受験対策を充実させ、合格率を向上させる。	カリキュラムへの対策講座の追加。 過去問題への解説作成、予想問題の作成。
令和7年度開始の動物園実習（動物飼育トレーニング学科動物飼育コース2年）の具体化と詳細な計画策定。	実習先の動物園との細かな打ち合わせ。
建物を含めた教育環境の改善を進める	開校時からの校舎の補修、学生用ロッカーの更新、コンピュータ、ネットワークの改善などを進める

学校総合評価及び学校関係者講評を踏まえた総括

<p>学校関係者評価委員からは以下のような講評を頂きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴校は財務状況等を踏まえ立派な結果を出していると思う。建築業界について言うと、大手ゼネコンは受注できないくらい盛況であるのに対して、住宅メインの設計事務所や工務店は受注が激減している状況である。このような業界の現状を学校にも知ってもらい学生指導に生かして欲しい。</li> <li>・ 愛玩動物看護師国家試験の合格率が全国平均より若干低いので頑張ってもらいたい。また、動物看護師の職能団体である「日本動物看護職協会」に卒業生が加入するように指導して欲しい。今後動物病院に対して待遇改善の発言をしていくためにも組織力が必要である。できることならば、卒業生が多く県内に就職してくれるとありがたい。</li> <li>・ 貴校でも特色ある教育を実践しておられるが、今後とも学外実習などの体験的な視察を充実させてもらいたい。</li> <li>・ 在籍学生数が多い学科の教育には特に気を付けて欲しい。</li> <li>・ 財務状況もよく、学校経営も順調に進んでいると思う。アクアに関しては、今後とも養殖関係の仕事が重要になるので、力を入れて欲しい。一般企業に就職する学生も一定数いるが、できるだけアクアの専門的な職業に就くように指導してほしい。</li> <li>・ 専門学校で学んでいる内容、動物のしつけなど等を教えるイベントを通して、地域との人的交流の機会や地域への還元があると、とても良いと考えている。</li> </ul> <p>校に残っていくことは大切である。以前校長先生より、卒業してもいつまでも母校を忘れずに訪ねて欲しいとお聞きした。私はこのことを卒業生に発信していきたい。</p> <p>どの学校関係者評価委員からも有意義なご意見ご講評を頂き感謝しております。現時点で学校全体としての入学定員を充足し、財務状況も良好です。各種アンケートでも高い評価を頂いております。したがって、今年度は全体として目標を達成できていると考えます。しかし、現状に満足せず、常に改善に取り組んでいかなければなりません。専門学校の使命は、地域へより良質な職業教育を提供することだと考えています。今後とも教職員一同、より良い教育を目指して精進して参ります。</p>
--

岡山理科大学専門学校 令和5年度財務状況

■事業活動収支

(単位：千円)

科目		年度	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額
教育活動 収支	収入	学生生徒等納付金	403,083	407,220
		経常費等補助金	32,306	33,130
		その他収入	15,250	6,791
		計	450,639	447,141
	支出	人件費	197,774	184,856
教育研究経費		114,895	109,866	
管理経費		35,283	29,623	
その他支出		0	0	
	計	347,952	324,345	
教育活動収支差額			102,687	122,796
教活外	収	受取利息等	10	1
	支	借入金利息等	113	113
	教育活動収支差額		△ 103	△ 112
経常収支差額			102,584	122,684
特別	収	資産売却差額等	0	0
	支	資産処分差額等	0	2
	特別収支差額		0	△ 2
基本金組入前収支差額			102,584	122,682
基本金組入額合計			△ 23,903	△ 18,775
当年度収支差額			78,681	103,907